

かとうぜきかいらんばん 可動堰回覧板

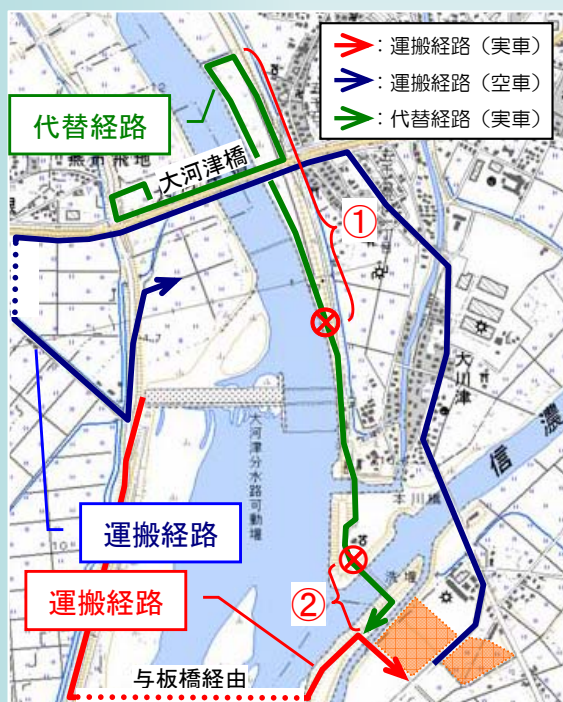
平成20年3月1日号 (No.32)
国土交通省北陸地方整備局
信濃川河川事務所大河津出張所
TEL 0256-97-2121
E-mail shinano@hrr.mlit.go.jp

回覧

工事で発生した土砂の運搬ルートや大河津橋下流で行っているブロック製作などについてお知らせします。

中条新田土砂仮置き場への運搬ルートについて

中条新田土砂仮置き場への土砂運搬は、これまで県道長岡寺泊線～与板橋を通る経路(下の地図の赤で示した経路)で運搬してきましたが、下の地図の緑で示した経路の河川敷区間が工事用道路として整備されたことから、少しでも一般道への影響が少なくなるように、大河津分水路の右岸堤防を通る経路も使用することとし、2月より通行しています。このルートは3月末まで使用する予定です。工事車両の運転には充分注意しておりますが、周辺を通行される際にはご注意ください。なお、安全確保のため河川敷区間の工事用道路(図中の①)及び洗堰(図中の②)への一般車両の立ち入りはご遠慮願います。

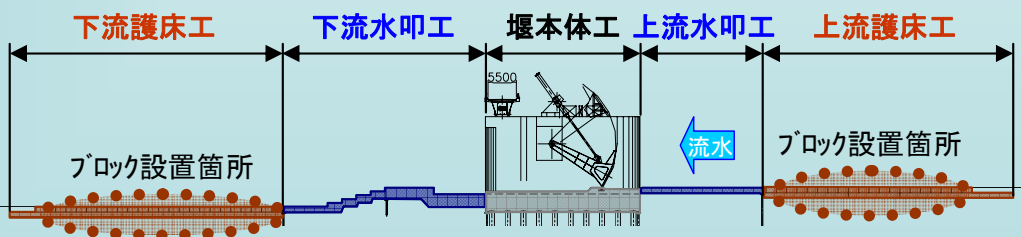
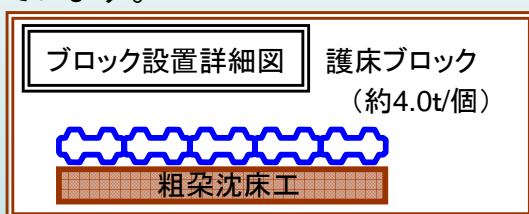
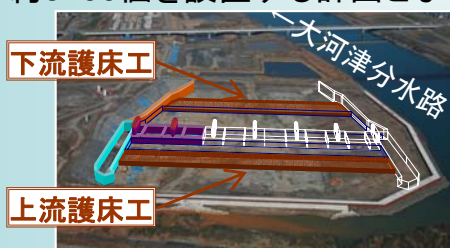


国土交通省
信濃川河川
可動堰 工事用車両

信濃川河川事務所発注工事の工事用車両にはプレートが付いています。お気づきの点がありましたら御連絡をお願いします。

可動堰上下流の護床工に使用するブロックを製作しています

大河津橋の下流で製作しているコンクリートブロックの数が増え、目立つようになってきました。このブロックは、1個の重さが約4トンあり、新しい可動堰の上下流の河床が水の流れにより洗掘を受け、施設が倒壊することがないように川底を保護するために設置するものです。これらのブロックは3月から設置を始め、6月末には完了する予定です。なお、ブロックは可動堰の上下流で約6700個を設置する計画となっています。



大河津橋下流の護床ブロックストックヤード(H20.2.12撮影)

可動堰下流の護岸について

新しい可動堰の下流左岸側では、新たに河道となる部分の高水敷の掘削を行い、掘削した法面を守るための護岸を設置する工事を行っています。護岸にはコンクリートブロックを使いますが、環境や景観に配慮して、植物が生えやすいように覆土(土砂を上からかぶせる)を行います。また、護岸基礎部の洗掘対策として水中に設置する粗朶沈床や木工沈床の組立を行っています。粗朶沈床は雑木から伐採した木の枝を束ね、中に自然石を詰めて製作します。木工沈床は間伐材を有効利用して製作します。粗朶沈床、木工沈床の隙間の部分は魚や昆虫などの棲みかとなり、自然環境に配慮したものとなっています。なお、現在工事中の箇所は3月までに完成の予定です。

「信濃川の気象」発行される！

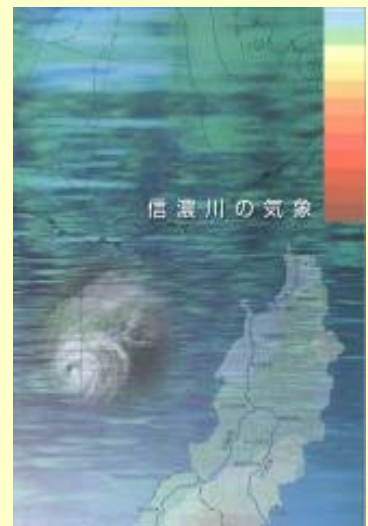
越後は晴れていても信濃川は大洪水。
その水はどこからやって来るのか？
そして、信濃川の大洪水は予測できるのか・・・？

近年の気候変動等の影響により、集中豪雨等の増加による災害は増加しており、その傾向は今後も続く見込まれています。災害による被害を最小限に抑えるためには、堤防整備等のハード対策と警戒避難等のソフト対策を一体的に進めていくことが重要です。信濃川河川事務所では、広大な信濃川流域で見られる様々な気象現象の特徴を整理し、出水と気象の関係を理解して頂くことにより、洪水時の避難行動等の参考として頂くことを目的に、本書を作成しました。

1冊500円で販売しています。
お求めは大河津資料館へ！
(TEL:0256-97-2195)



「大河津分水双書」
「信濃川・越後平野
の地形と地質」も販
売中です！



『可動堰なんでも電話』を開設し、みなさんからのご意見・ご質問などをお待ちしております。
0258-32-3134 (平日 AM9:00~PM4:00)

工事や河川に関することはなんでも大河津出張所へ Tel 0256-97-2121 (建設監督官在所)
大河津出張所 :大河津分水全般に関する工事監督・維持管理等
建設監督官(可動堰改築担当):大河津可動堰改築事業に関する工事監督等

信濃川河川事務所
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

大河津可動堰情報館
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeki/>

信濃川大河津資料館
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu/index.html>